

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 5月30日 更新

事務事業名		歯科保健連絡会議運営事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	健康福祉部	課長名	安武 祐次
	施策	15	健康づくりの推進				所属課	健康づくり推進課	担当者名	前田 友里
	基本事業	43	病気になる生活習慣の確立				所属班	健康推進班	(内線)	2169
予算科目		会計一般	款4	項1	目6	事業連番11228	法令根拠	健康増進法	成果優先度評価結果	⑫
									コスト削減優先度評価結果	⑥
終了、開始年度		☐ 22年度で終了 ☐ 22年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)			

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・生涯にわたって歯の健康を維持していくことにより健康な日常生活を過ごすことを目的に、各機関が連絡調整・研修等を行い、市の歯科保健事業を円滑に遂行していくため連携を図るため年1回程度開催。 ・委員構成：合志市歯科医師（代表歯科医師5名）、歯科衛生士会（代表歯科衛生士1名）、学校養護部会（代表養護教諭2名）、菊池保健所、学校教育課、健康づくり推進課 ・平成10年度～開始（昭和62年、旧合志町にて、地域全体のデンタルIQを高めることを目指し、知識統一のため、保健師や養護教諭、歯科医師で勉強会を始めた。）義務教育期間中は学校保健法が中心となるので、切れ目なくフォローしていくことを目的に、学校教育課も参加している。歯科医師より、現場で活動している歯科衛生士を委員に加えることで、よりよい意見交換ができるのではないかと提案があり、H21年度から歯科衛生士を委員に追加した。
【業務の流れ】	会議日程調整→委員委嘱状交付についての起案及び会議開催についての起案→通知発送→会議資料作成→会議実施→会議録作成→報酬及び費用弁償の差し引き→欠席の歯科医師に会議録の送付
【主な予算費目】	報酬、旅費、役務費
【意見や要望】 関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	・歯科保健の向上を図るためにも必要なことであると菊池保健所から言われている。 ・平成20年度歯科保健連絡会議開催時、歯科医師より「現場で活動している歯科衛生士を委員に加えることで、よりよい意見交換ができるのでは」との意見があり、平成21年度から歯科衛生士を委員として追加。その結果、専門的な立場から貴重な意見をいただくことができたとの声あり。 ・会議において、保育園や幼稚園、学校における歯みがきの励行やフッ化物の利用（洗口）など、3歳児健診後の歯科のフォローをどのような形で継続していくかという課題があがっている。

1 現状把握の部（DO、PLAN）

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO) 会議日程調整。委員委嘱状交付について起案会議起案。通知発送。会議資料作成。会議実施。会議録作成。費用弁償の差し引き。会議録の送付。H21年度から健診介助者である歯科衛生士を委員に追加。		23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 平成22年度同様、各委員に通知を送付し、会議を実施する。実施後は、報酬と費用弁償の支払いを行う。また、会議録を作成し、欠席の委員に送付する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 会議開催回数	回	増減なし。
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市が行う歯科保健事業		②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア 歯科保健関連事務事業数 本
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 円滑に取り組むことができる。		③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→ ア 前年度の会議での決定事項のうち今年度実行できなかった項目 件
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		
本会議の内容を次年度に生かしていくことが重要であると考え、決定事項についてどの程度実行できたかを成果指標として設定する。 (その際、評価しやすいよう「実行できなかった項目」の件数で評価することとする。) 目標値については、決定事項を全て実行に移すことができるよう務めていくことを目標とした。		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
① 活動指標	ア 回		1	1	1	1	1	1	0	
② 対象指標	ア 本		4	4	4	4	4	4	0	(期間限定複数年度のみ記載) 0
③ 成果指標	ア 件		0	0	0	0	0	0	0	
事業費 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源 (A) 事業費計 (A)のうち指定経費 (A)のうち時間外、特数 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 (B)人件費計 トータルコスト(A)+(B)	財源内訳	千円								
		千円								
		千円								
		千円								
		千円								
		千円	36	26	40	35	40			
		千円	36	26	40	35	40	0	0	
		千円	0	0	23	22	23	0	0	
		千円	0	0	0	0	0	0	0	
		人	5	4	5	4	5	5	0	
		時間	392	130	392	65	392	392	0	
		千円	1,568	517	1,560	267	1,615	1,615	0	
		千円	1,604	543	1,600	302	1,655	1,615	0	

事務事業名	歯科保健連絡会議運営事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	--------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部（SEE）

*原則は22年度的事後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した 平成23年度は、委員全員出席。様々な立場から活発に意見交換ができた。	☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 平成22年度についても、これまで同様開催できるよう、関係機関の日程調整を図っていく。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 会議の場で十分な意見交換がされており、それが市歯科保健事業に取り入れられ、年々事業の内容ややり方が改善されているという実情がある。	☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似した事業はない。	☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 最低限の事業費を計上しているため。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 必要最小限の委員構成としているため。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 委員構成は毎年変更がぁっているとともに、本会議での決定内容は市歯科医師及び市歯科衛生士に周知しているため、公平・公正である。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 市の歯科保健業務についての検討の場であるので、市が入らずに実施することはできない。	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

市歯科保健事業をより良いものにしていくため、また、関係機関が連携を図りながらより円滑に事業を運営していくためにも、とても重要な会議である。今後も、定期的に委員構成の見直しを図りながら、市歯科保健事業をより良いものにしていくよう務めていく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 歯科保健連絡協議会を開催し、様々な立場から、専門的な意見をいただくことで、市の歯科保健事業がより良いものに改善していく。				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 歯科保健連絡協議会で検討した内容を、課内で検討し、市の歯科保健事業をより良いものにしていく。																												